平成26年３月期　第３四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

平成26年１月31日

上場会社名　　八千代工業株式会社　　上場取引所　　東
コード番号　　7298　　ＵＲＬ　http://www.yachiyo-ind.co.jp/
代表者　　（役職名）代表取締役社長　　（氏名）辻井　元
問合せ先責任者　（役職名）経理部長　　（氏名）川瀬　和昭　　ＴＥＬ　04-2955-1211
四半期報告書提出予定日　　平成26年２月13日　　配当支払開始予定日　　－
四半期決算補足説明資料作成の有無：　無
四半期決算説明会開催の有無　　：　無

（百万円未満切捨て）

１．平成26年３月期第３四半期の連結業績（平成25年４月１日～平成25年12月31日）

（１）連結経営成績(累計)　　（%表示は、対前年同四半期増減率）

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
26年３月期第３四半期	185,956	0.4	6,002	30.1	6,326	38.8	2,223	10.9
25年３月期第３四半期	185,224	△1.3	4,614	206.3	4,557	226.1	2,004	－

（注）包括利益　26年３月期第３四半期　8,161百万円（ 168.6%）25年３月期第３四半期　3,038百万円（　　－%）

	１株当たり四半期純利益	潜在株式調整後１株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
26年３月期第３四半期	92.57	－
25年３月期第３四半期	83.46	－

（２）連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
26年３月期第３四半期	131,120	48,829	31.3
25年３月期	121,215	40,068	27.8

（参考）自己資本　　26年３月期第３四半期　41,103百万円　　25年３月期　33,738百万円

２．配当の状況

	年間配当金				
	第１四半期末	第２四半期末	第３四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
25年３月期	－	10.00	－	10.00	20.00
26年３月期	－	11.00	－		
26年３月期(予想)				11.00	22.00

（注）直近に公表されている配当予想からの修正の有無：　無

３．平成26年３月期の連結業績予想（平成25年４月１日～平成26年３月31日）

（%表示は、対前期増減率）

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		１株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	250,000	4.6	8,000	47.6	8,200	46.5	2,400	34.9	99.94

（注）直近に公表されている業績予想からの修正の有無：　有

※　注記事項

（１）当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動（連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動）：　無

新規　－社（社名）－　、除外　－社（社名）－

（２）四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用：　有

（注）詳細は、【添付資料】３ページ「２．サマリー情報（注記事項）に関する事項（２）四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用」をご参照ください。

（３）会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

①　会計基準等の改正に伴う会計方針の変更　：　無

②　①以外の会計方針の変更　：　有

③　会計上の見積りの変更　：　無

④　修正再表示　：　無

（注）詳細は、【添付資料】３ページ「２．サマリー情報（注記事項）に関する事項（３）会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示」をご参照ください。

（４）発行済株式数（普通株式）

①　期末発行済株式数（自己株式を含む）	26年３月期３Ｑ	24,042,700株	25年３月期	24,042,700株
②　期末自己株式数	26年３月期３Ｑ	29,138株	25年３月期	29,138株
③　期中平均株式数（四半期累計）	26年３月期３Ｑ	24,013,562株	25年３月期３Ｑ	24,013,562株

※　四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

この四半期決算短信の開示時点において、金融商品取引法に基づく四半期連結財務諸表のレビュー手続きは実施中であります。

※　業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

１．上記業績予想は、平成25年３月期決算短信（平成25年４月26日発表）における業績予想から変更しております。詳細につきましては、【添付資料】３ページ「１．当四半期決算に関する定性的情報（３）連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご参照ください。

２．業績予想については、現時点で入手可能な情報に基づき当社の経営者が判断した予想であり、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。実際の業績は様々な要因の変化により、記載の業績予想とは大きく異なる結果となり得ますことをご承知おきください。

【添付資料】

添付資料の目次

１．当四半期決算に関する定性的情報 …… 2
（１）経営成績に関する説明 …… 2
（２）財政状態に関する説明 …… 3
（３）連結業績予想などの将来予測情報に関する説明 …… 3
２．サマリー情報(注記事項)に関する事項 …… 3
（１）当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動 …… 3
（２）四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 …… 3
（３）会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示 …… 3
（４）追加情報 …… 3
３．四半期連結財務諸表等 …… 4
（１）四半期連結貸借対照表 …… 4
（２）四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書 …… 6
第３四半期連結累計期間 …… 6
第３四半期連結会計期間 …… 8
（３）四半期連結財務諸表に関する注記事項 …… 10
(継続企業の前提に関する注記) …… 10
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記) …… 10
(セグメント情報等) …… 10

１．当四半期決算に関する定性的情報

（１）経営成績に関する説明

当第３四半期連結累計期間の経済状況は、国内においては、輸出環境の改善や経済対策及び金融政策の効果が発現するなかで設備投資や個人消費は持ち直し傾向にあり、景気は緩やかに回復しつつあります。一方、海外においては、米国の景気は、金融緩和の縮小や財政問題への対応による影響が懸念されるものの、雇用環境の改善に伴う個人消費の増加を中心として緩やかな回復が続いております。アジア諸国の景気は、中国では、消費の伸びがおおむね横ばいとなっているものの、輸出は持ち直しているなど、拡大のテンポは安定化しつつあり、インドでは下げ止まりの兆しがみられております。その他のアジア諸国においては、内需を中心とした持ち直しの動きが緩やかになってきております。欧州主要国の景気は、財政緊縮や高い失業率などの影響により依然弱さが残るものの、持ち直しの兆しがみられております。

このような情勢のもと、当社グループは、主要事業のＳ（営業）Ｅ（生産）Ｄ（製品開発）Ｂ（購買）機能の強化、海外拠点の体質強化及び販路の拡大、新規事業推進体制の充実、業務プロセスの改革と人材育成のさらなる強化に取り組んでまいりました。研究開発面では、製品の競争力を向上させるための新たな機構や新材料などを活用した製品開発の強化に加え、「先進技術と革新商品の継続的創造」を目的に、Ｓ、Ｅ、Ｄ、Ｂが一体となって部品事業の拡大に向けた主要製品の次世代技術の研究や、新規事業の参入に向けた製品開発のための体制の構築に取り組んでまいりました。その結果、一部で商品化を実現しております。生産面では、国内外の生産体質改革をさらに推進するとともに、市場拡大が見込まれるメキシコとインドネシアで新拠点の操業を開始しました。

当第３四半期連結累計期間の売上高は、自動車部品及び自動車組立における受注の減少などはあったものの、為替換算上の影響により、1,859億５千６百万円と、前年同期に比べ７億３千１百万円、0.4％の増収となりました。利益につきましては、受注の減少や研究開発費の増加などはあったものの、原価改善効果や為替換算上の影響などにより、経常利益は、63億２千６百万円と前年同期に比べ17億６千８百万円、38.8％の増益となりました。四半期純利益は、22億２千３百万円と前年同期に比べ２億１千８百万円、10.9％の増益となりました。

セグメントの業績は次のとおりであります。

（日本）

日本においては、自動車部品及び自動車組立における受注の減少などにより、売上高は、839億２千３百万円と前年同期に比べ186億３千４百万円、18.2％の減収となりました。経常利益は、受注の減少や研究開発費の増加などはあったものの、原価改善効果などにより、６億１千９百万円と前年同期に比べ５億６千３百万円の増益となりました。

（米州）

米州においては、連結子会社であるヤチヨ　マニュファクチュアリング　オブ　アラバマ　エル　エル　シー（米国）、ユー　エス　ヤチヨ　インコーポレーテッド（米国）における受注の増加や、為替換算上の影響などにより、売上高は443億７千８百万円と前年同期に比べ97億１千万円、28.0％の増収となりました。経常利益は、研究開発費の増加や平成25年11月に操業を開始したヤチヨ　メキシコ　マニュファクチュアリング　エス　エー　デ　シー　ブイ（メキシコ）の操業準備費用などはあったものの、受注の増加や為替換算上の影響などにより、７億１千７百万円と前年同期に比べ４億４千２百万円、161.4％の増益となりました。

なお、カナダ及び米国の連結子会社については、【添付資料】３ページ「２．サマリー情報（注記事項）に関する事項（４）追加情報」に記載のとおり、第１四半期連結会計期間より決算日を12月31日から３月31日に変更しており、前第３四半期連結累計期間は平成24年１月１日から平成24年９月30日、当第３四半期連結累計期間は平成25年４月１日から平成25年12月31日であります。

（中国）

中国においては、連結子会社である八千代工業（武漢）有限公司（中国）における受注の減少はあったものの、為替換算上の影響などにより、売上高は、157億７千６百万円と前年同期に比べ25億５千９百万円、19.4％の増収となりました。経常利益は、受注の減少はあったものの、為替換算上の影響などにより、20億１千１百万円と前年同期に比べ２千５百万円、1.3％の増益となりました。

（アジア）

アジアにおいては、連結子会社であるサイアム　ゴウシ　マニュファクチュアリング　カンパニー　リミテッド（タイ）における受注の減少などはあったものの、為替換算上の影響などにより、売上高は、418億７千８百万円と前年同期に比べ70億９千５百万円、20.4％の増収となりました。経常利益は、受注の減少や平成25年８月に操業を開始したピー　ティー　ヤチヨ　トリミトラ　インドネシア（インドネシア）の操業準備費用などはあったものの、為替換算上の影響などにより、31億２千１百万円と前年同期に比べ５億８千７百万円、23.2％の増益となりました。

（２）財政状態に関する説明

資産、負債及び純資産の状況

当第３四半期連結会計期間末の資産合計は、1,311億２千万円と前年度に比べ99億５百万円の増加となりました。増加した要因は、現金及び預金の増加、また、為替換算上の影響などによるものであります。

負債合計は、822億９千万円と前年度に比べ11億４千３百万円の増加となりました。増加した要因は、為替換算上の影響などによるものであります。

純資産合計は、488億２千９百万円と前年度に比べ87億６千１百万円の増加となりました。増加した要因は、為替換算調整勘定や利益剰余金が増加したことなどによるものであります。

（３）連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

平成26年３月期の業績予想につきましては、第３四半期連結累計期間の為替レートが当初の想定より円安に推移したことによる実績等を反映し、通期の連結業績予想は下記のとおりとしております。

＜連結業績の見通し＞

売上高	２，５００億円	（前年度比　４．６％増）
営業利益	８０億円	（前年度比　４７．６％増）
経常利益	８２億円	（前年度比　４６．５％増）
当期純利益	２４億円	（前年度比　３４．９％増）

為替レートにつきましては、通期で１米ドル99円を想定しております。

※業績予想については、現時点で入手可能な情報に基づき当社の経営者が判断した予想であり、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。実際の業績は様々な要因の変化により、記載の業績予想とは大きく異なる結果となり得ますことをご承知おきください。

２．サマリー情報(注記事項)に関する事項

（１）当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動

該当事項はありません。

（２）四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用

税金費用については、当第３四半期連結会計期間を含む連結会計年度の税引前当期純利益に対する税効果会計適用後の実効税率を合理的に見積り、税引前四半期純利益に当該見積実効税率を乗じて計算しております。

（３）会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

会計方針の変更

（たな卸資産の評価方法の変更）

当社及び国内連結子会社は、たな卸資産の評価の方法について、従来、主として総平均法による原価法（貸借対照表価額については収益性の低下に基づく簿価切下げの方法）により評価し、在外連結子会社は、主として先入先出法又は総平均法による低価法により評価しておりましたが、第１四半期連結会計期間より当社及び一部の国内連結子会社は、先入先出法による原価法（貸借対照表価額については収益性の低下に基づく簿価切下げの方法）、一部の在外連結子会社は、先入先出法による低価法に変更しております。

この変更は、近年の原材料価格が短期間で変動している現状を勘案し、適正な棚卸資産の評価、期間損益計算を行うため、たな卸資産の評価方法の見直しを行ったものであります。

この変更による影響は軽微であるため、遡及適用は行っておりません。

（４）追加情報

（連結子会社の事業年度等に関する事項の変更）

従来、決算日が12月31日である連結子会社は、同日現在の財務諸表を使用し、連結決算日との間に生じた重要な取引については連結上必要な調整を行っておりますが、このうちヤチヨ　オブ　オンタリオ　マニュファクチュアリング　インコーポレーテッド（カナダ）、ヤチヨ　オブ　アメリカ　インコーポレーテッド（米国）、ユー　エス　ヤチヨ　インコーポレーテッド（米国）、ヤチヨ　マニュファクチュアリング　オブ　アラバマ　エル　エル　シー（米国）、エー　ワイ　マニュファクチュアリング　リミテッド（米国）及びヤチヨ　インダストリー（ユーケー）リミテッド（英国）については、決算日を12月31日から３月31日に変更しております。これに伴い、当第３四半期連結累計期間においては、これら連結子会社の平成25年４月１日から平成25年12月31日までの９ヶ月間の財務諸表を連結しております。なお、平成25年１月１日から平成25年３月31日までの３ヶ月間の損益については、利益剰余金の増減として調整しております。

３．四半期連結財務諸表等
（１）四半期連結貸借対照表

（単位：百万円）

	前連結会計年度 （平成25年３月31日）	当第３四半期連結会計期間 （平成25年12月31日）
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	9,728	14,247
受取手形及び売掛金	24,080	25,563
商品及び製品	1,380	1,440
仕掛品	2,314	1,464
原材料及び貯蔵品	4,739	5,818
その他	3,610	3,884
流動資産合計	45,853	52,418
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物	47,187	50,349
機械装置及び運搬具	91,354	99,512
工具、器具及び備品	44,330	46,938
土地	19,562	19,705
建設仮勘定	4,790	4,813
減価償却累計額	△135,418	△146,915
有形固定資産合計	71,806	74,405
無形固定資産		
のれん	286	71
その他	581	975
無形固定資産合計	867	1,047
投資その他の資産	2,687	3,248
固定資産合計	75,361	78,702
資産合計	121,215	131,120

（単位：百万円）

	前連結会計年度 （平成25年３月31日）	当第３四半期連結会計期間 （平成25年12月31日）
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	23,504	25,405
短期借入金	15,971	16,389
1年内返済予定の長期借入金	8,398	8,124
賞与引当金	1,863	1,363
その他	10,665	6,566
流動負債合計	60,403	57,848
固定負債		
長期借入金	12,496	12,817
退職給付引当金	6,826	7,292
役員退職慰労引当金	117	138
その他	1,303	4,194
固定負債合計	20,743	24,441
負債合計	81,147	82,290
純資産の部		
株主資本		
資本金	3,685	3,685
資本剰余金	3,504	3,504
利益剰余金	31,103	33,926
自己株式	△24	△24
株主資本合計	38,268	41,091
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	193	287
為替換算調整勘定	△4,722	△276
その他の包括利益累計額合計	△4,529	11
少数株主持分	6,329	7,726
純資産合計	40,068	48,829
負債純資産合計	121,215	131,120

（２）四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書
（四半期連結損益計算書）
（第３四半期連結累計期間）

（単位：百万円）

	前第３四半期連結累計期間 （自 平成24年４月１日 至 平成24年12月31日）	当第３四半期連結累計期間 （自 平成25年４月１日 至 平成25年12月31日）
売上高	185,224	185,956
売上原価	169,053	167,218
売上総利益	16,171	18,738
販売費及び一般管理費	11,557	12,736
営業利益	4,614	6,002
営業外収益		
受取利息	110	177
固定資産賃貸料	65	66
為替差益	－	259
その他	154	207
営業外収益合計	330	710
営業外費用		
支払利息	316	350
その他	70	36
営業外費用合計	386	386
経常利益	4,557	6,326
特別利益		
固定資産売却益	601	53
特別利益合計	601	53
特別損失		
固定資産売却損	6	25
固定資産除却損	104	81
特別退職金	9	31
特別損失合計	119	138
税金等調整前四半期純利益	5,039	6,241
法人税等	2,142	2,819
少数株主損益調整前四半期純利益	2,897	3,422
少数株主利益	893	1,199
四半期純利益	2,004	2,223

（四半期連結包括利益計算書）
（第３四半期連結累計期間）

（単位：百万円）

	前第３四半期連結累計期間 （自 平成24年４月１日 至 平成24年12月31日）	当第３四半期連結累計期間 （自 平成25年４月１日 至 平成25年12月31日）
少数株主損益調整前四半期純利益	2,897	3,422
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	28	94
為替換算調整勘定	112	4,644
その他の包括利益合計	140	4,738
四半期包括利益	3,038	8,161
（内訳）		
親会社株主に係る四半期包括利益	2,207	6,763
少数株主に係る四半期包括利益	830	1,397

（四半期連結損益計算書）
（第３四半期連結会計期間）

（単位：百万円）

	前第３四半期連結会計期間 （自 平成24年10月１日 至 平成24年12月31日）	当第３四半期連結会計期間 （自 平成25年10月１日 至 平成25年12月31日）
売上高	57,144	63,308
売上原価	52,228	56,649
売上総利益	4,915	6,658
販売費及び一般管理費	4,018	4,021
営業利益	897	2,637
営業外収益		
受取利息	35	54
固定資産賃貸料	21	22
為替差益	150	219
その他	56	91
営業外収益合計	263	386
営業外費用		
支払利息	120	114
その他	2	6
営業外費用合計	123	121
経常利益	1,037	2,903
特別利益		
固定資産売却益	28	0
特別利益合計	28	0
特別損失		
固定資産売却損	2	21
固定資産除却損	8	12
特別退職金	－	6
特別損失合計	10	39
税金等調整前四半期純利益	1,055	2,863
法人税等	652	1,236
少数株主損益調整前四半期純利益	402	1,626
少数株主利益	332	388
四半期純利益	69	1,238

（四半期連結包括利益計算書）
（第３四半期連結会計期間）

（単位：百万円）

	前第３四半期連結会計期間 （自 平成24年10月１日 至 平成24年12月31日）	当第３四半期連結会計期間 （自 平成25年10月１日 至 平成25年12月31日）
少数株主損益調整前四半期純利益	402	1,626
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	81	17
為替換算調整勘定	45	419
その他の包括利益合計	126	436
四半期包括利益	528	2,063
（内訳）		
親会社株主に係る四半期包括利益	228	1,809
少数株主に係る四半期包括利益	300	253

（３）四半期連結財務諸表に関する注記事項

（継続企業の前提に関する注記）

該当事項はありません。

（株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記）

該当事項はありません。

（セグメント情報等）

【セグメント情報】

前第３四半期連結累計期間（自　平成24年４月１日　至　平成24年12月31日）

１　報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

（単位：百万円）

	報告セグメント						調整額（注）１	四半期連結損益計算書計上額（注）２
	日本	米州	中国	アジア	その他の地域	計		
売上高								
外部顧客への売上高	102,557	34,668	13,216	34,782	―	185,224	―	185,224
セグメント間の内部売上高又は振替高	5,806	10	266	119	―	6,202	(6,202)	―
計	108,364	34,678	13,482	34,902	―	191,427	(6,202)	185,224
セグメント利益	55	274	1,985	2,534	10	4,860	(302)	4,557

（注）１　セグメント利益の調整額△302百万円は、セグメント間取引消去の金額及びのれんの償却額等であります。

２　セグメント利益は、四半期連結損益計算書の経常利益と調整を行っております。

当第３四半期連結累計期間（自　平成25年４月１日　至　平成25年12月31日）

１　報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

（単位：百万円）

	報告セグメント						調整額（注）１	四半期連結損益計算書計上額（注）２
	日本	米州	中国	アジア	その他の地域	計		
売上高								
外部顧客への売上高	83,923	44,378	15,776	41,878	―	185,956	―	185,956
セグメント間の内部売上高又は振替高	5,262	2	249	54	―	5,568	(5,568)	―
計	89,185	44,380	16,025	41,933	―	191,524	(5,568)	185,956
セグメント利益	619	717	2,011	3,121	13	6,483	(157)	6,326

（注）１　セグメント利益の調整額△157百万円は、セグメント間取引消去の金額及びのれんの償却額等であります。

２　セグメント利益は、四半期連結損益計算書の経常利益と調整を行っております。

２　報告セグメントの変更等に関する事項

（連結子会社の事業年度等に関する事項の変更）

カナダ及び米国（米州）、英国（その他の地域）の連結子会社については、第１四半期連結会計期間より決算日を12月31日から３月31日に変更しており、前第３四半期連結累計期間は平成24年１月１日から平成24年９月30日、当第３四半期連結累計期間は平成25年４月１日から平成25年12月31日であります。

前第３四半期連結会計期間（自　平成24年10月１日　至　平成24年12月31日）

１　報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

（単位：百万円）

	報告セグメント						調整額（注）１	四半期連結損益計算書計上額（注）２
	日本	米州	中国	アジア	その他の地域	計		
売上高								
外部顧客への売上高	30,572	10,795	4,119	11,656	―	57,144	―	57,144
セグメント間の内部売上高又は振替高	2,191	0	12	30	―	2,234	(2,234)	―
計	32,764	10,795	4,131	11,687	―	59,379	(2,234)	57,144
セグメント利益（又はセグメント損失）	△45	△348	677	806	3	1,093	(55)	1,037

（注）　１　セグメント利益の調整額△55百万円は、セグメント間取引消去の金額及びのれんの償却額等であります。
　　２　セグメント利益は、四半期連結損益計算書の経常利益と調整を行っております。

当第３四半期連結会計期間（自　平成25年10月１日　至　平成25年12月31日）

１　報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

（単位：百万円）

	報告セグメント						調整額（注）１	四半期連結損益計算書計上額（注）２
	日本	米州	中国	アジア	その他の地域	計		
売上高								
外部顧客への売上高	29,965	14,104	6,170	13,068	―	63,308	―	63,308
セグメント間の内部売上高又は振替高	1,598	0	83	1	―	1,683	(1,683)	―
計	31,563	14,104	6,253	13,069	―	64,992	(1,683)	63,308
セグメント利益	645	504	828	896	7	2,882	20	2,903

（注）　１　セグメント利益の調整額20百万円は、セグメント間取引消去の金額及びのれんの償却額等であります。
　　２　セグメント利益は、四半期連結損益計算書の経常利益と調整を行っております。

２　報告セグメントの変更等に関する事項

（連結子会社の事業年度等に関する事項の変更）

カナダ及び米国（米州）、英国（その他の地域）の連結子会社については、第１四半期連結会計期間より決算日を12月31日から３月31日に変更しており、前第３四半期連結会計期間は平成24年７月１日から平成24年９月30日、当第３四半期連結会計期間は平成25年10月１日から平成25年12月31日であります。